

## 事業者向け

## 児童発達支援自己評価表

公表：2026年 3月10日

事業所名：児童発達支援センター コアラ園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7		・療育活動ルーム以外で、廊下や「ふれあいホール」を使用して、安全で楽しく活動出来る環境を提供しています。	
	2	職員の配置数は適切であるか	7		・地域支援事業、訪問事業時は、現場スタッフ数に合わせた活動内容を実施する。	・地域支援等で現場スタッフが少ない場合は、安全面を考えた活動内容を計画し実施していきます。
	3	生活空間は、本人に分かり易い構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7			・3階建て建物の1階部分のスペースを使用しています。活動ルームも横に並行した構造で配置していません。子供用トイレも設置しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地良く過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7			
	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	7			・年1回アンケート調査を実施し、要望等に対する改善点をスタッフ全員で検討し対応しています。

業務改善	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえて、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者向け及び事業者向けのアンケート調査結果と改善点を記載したデータを、ゆうかり学園ホームページにて掲載し閲覧出来る様にしています。</li> </ul>
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7			
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>文書作成ソフト（co-mii）で配信されている研修動画の視聴を活用していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務に必要な研修会や、専門的知識を習得する為の研修会等の情報提供を行い、受講申し込みを積極的に行いたいと思います。（オンライン研修など）</li> </ul>
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で児童発達支援計画を作成しているか	7			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7			

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組合せて児童発達支援計画を作成しているか	7			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			・初めて支援を受ける方へは、事前に「おためし利用」を受けていただき、成長が望めるグループへの登園ご案内をしています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7			
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7			

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7			・隣接する、ゆうかり医療福祉センターの小児神経科Drやリハビリスタッフと連携をした支援を行っています。
	23	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7			
	24	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7			
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	1	・情報共有できている契約児も多いが、さらに積極的に行っていく必要がある。	・隣接する医療療育センターの小児神経科Drやリハビリスタッフより助言等を受けて、活動内容を検討していきます。
	26	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	5	2	・地域の基幹相談事業所スタッフとの情報共有を行う様にしていく。	・うきは市の地域障害者協議会（児童部会）に参加しています。会議等に出席していきます。
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			

	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ヘルプ・トレーニング等）の支援を行っているか	7			
保護者への説明責任等	29	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			
	30	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画書の同意を得ているか	7		・利用開始時は、保護者よりアセスメントシートに記入していただき、AI文書作成ソフトに入力する事で、適切な活動プログラムが作成されています。	
	31	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			
	32	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			
	34	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	7			
	35	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			

	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症の関係で今まで行っていたが、地域の方に参加して頂く事を控えて頂いている。</li> <li>・祭りや運動会等の法人的行事に利用者さんのご家族も受け入れる事から広げて行く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人全体で開催する行事として運動会（5月予定）、秋まつり（10月予定）を地域住民を招待して行う予定です。</li> </ul>
非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7			
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			
	39	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	7			
	40	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7		<ul style="list-style-type: none"> <li>・食物アレルギーがある利用者様は、適切に配慮している。</li> </ul>	
	41	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハット発生時は、翌日の朝礼にて内容の報告と改善点についてスタッフ全員で共有しています。</li> </ul>
	42	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			